

商学会賞受賞報告

第12期 荒井 礼

◆商学会賞とは？

商学会賞とは、「慶應義塾商学会賞」を正式名称とし、慶應義塾大学商学会が年1回発行する『三田商学研究学生論文集』に掲載を許可された論文に与えられる称号のことです。商学部にも所属する学部生なら誰でも投稿することができますが、すべての投稿論文が掲載されるわけではなく、商学部教授陣の審査を経て高い評価を得た論文だけが、その学術的価値を評され、「慶應義塾商学会賞」受賞論文として称えられつつ、掲載許可を得ることができます。

◆投稿論文の概要

投稿論文のタイトルは、「アクティブサポートが顧客のブランド評価に及ぼす影響——eクチコミの発信動機とサポート内容に着目して——」です。近年、企業が顧客との新しいコミュニケーション手法として活用しているアクティブサポートは、顧客のブランド評価を高める場合もあれば、低める場合もありますが、どのようなアクティブサポートが顧客の高いブランド評価に帰着するかということを議論した研究は、存在しませんでした。そこで本論文は、サポートの内容を独自に分類した上で、新たにeクチコミの発信動機の知見を援用することによって、eクチコミの発信動機に応じていかなる内容のサポートを行うと、顧客の高いブランド評価に帰着するか、ということ初めて吟味しました。

◆皆様への感謝

私が商学会に論文を投稿し、商学会賞を受賞することができたのは、小野ゼミの、何事にも挑戦する伝統、何事にも妥協を許さない伝統、そして、挑戦する人を応援する伝統があったからに他なりません。こうした小野ゼミの素晴らしい伝統を作り、継承してくださった OBOGの皆様、そしてなにより小野先生には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。小野ゼミに入れて頂き、育てて頂き、ありがとうございました。小野ゼミの素晴らしき伝統は、きっと13期の可愛い後輩達が受け継いでくれることでしょう。来年の受賞報告を楽しみにしています！（笑）



小野先生と（ソウルにて）